

平成24年度（第56回）岩手県教育研究発表会開催案内

(1) 趣 旨

岩手県の県政課題を解決するために、県内各学校及び教育関係機関、岩手県立総合教育センターにおける実践研究の成果を広く教育関係者に公開し、その理解と普及を図り、もって本県の教育の向上に資する。

(2) 主 催

岩手県教育委員会

(3) 実施機関

岩手県立総合教育センター

(4) 後 援

岩手県市町村教育委員会協議会

岩手県教育研究所連盟

岩手県小学校教育研究会

岩手県中学校教育研究会

岩手県高等学校教育研究会

岩手県私学協会

岩手県国公立幼稚園協議会

岩手県私立幼稚園連合会

岩手県社会福祉協議会・保育協議会

(5) 期 日

平成25年2月14日（木）・15日（金）

(6) 会 場

2月14日（木） 花巻温泉ホテル千秋閣・ホテル花巻

岩手県立総合教育センター

2月15日（金） 花巻温泉ホテル千秋閣・ホテル花巻・ホテル紅葉館

岩手県立総合教育センター

岩手県立生涯学習推進センター

(7) テーマ及び内容

① 全体テーマ 「教育の復興」

② 内 容

ア 全体会

「校種間連携と岩手の人材育成」

「いわての復興教育～この1年の取り組み～」

イ 特設分科会

特設分科会1 「いわての復興教育～この1年の実践とこれから～」

特設分科会2 「効果的な校内研究推進マネジメント」

特設分科会3 「地域と共に歩む教育をめざして

～幼、小、中、高、特支、地域との連携の姿から～」

特設分科会4 「学校ぐるみで取り組む中学生の学力向上

～『いわてスタンダード』『Gアップシート』を活用して～」

特設分科会5 「こころのサポート」

ウ 分科会

- 1 国語、2 社会/地理歴史・公民、3 算数/数学、4 理科、5 音楽
- 6 体育/保健体育/健康教育、7 家庭/技術・家庭、8 外国語活動/外国語
- 9 道徳/特別活動/総合的な学習の時間、10 情報教育、11 小規模・複式指導
- 12 幼児教育/幼小接続、13 教育相談、14 特別支援教育

エ 企画展

- 1 学生科学賞入賞作品展
- 2 教材展（理科）
- 3 教材展（技術・家庭）
- 4 教材展（特別支援教育）
- 5 教材展（情報教育）
- 6 学校紹介写真展

(8) その他

- ① 2日目午後に、「教育相談コーディネーター養成事業」（文部科学省復興教育支援事業）として、フォーラム「未来につなぐ いわての教育相談」が開催される。

◆【全体会】要旨

復興元年の本年度、全体テーマを「教育の復興」としました。「教育の復興」とは、震災を契機にもう一度岩手の子どもたちに必要な教育とは何かを考え、原点に立ち返ることであるととらえています。県内の教育関係者が一堂に会し、自分たちの足下を捉え直す場としたいと考えます。

平成21年度は、本県の学力向上について「校内研修」と「家庭学習」の視点から協議し、22年度は、「家庭学習の在り方と部活動等の関わり」について協議しました。これらの成果として、校内研修や家庭学習、部活動指導等が見直されてきました。また、発表会をとおし、学力向上における学校改革の必要性、学校経営の重要性が改めて認識されました。

昨年度は、「学力向上と組織マネジメント」をテーマに、シンポジウムを開催しました。学力向上のために、市町村教育委員会が学校に対してどのように働きかけていけばいいのか、具体的な例を元に論議を深めるとともに、指導行政の果たす役割の重要性について、再確認する場となりました。午後は学校教育室義務教育課長が、「いわての復興教育」の概要を説明し、本県の復興教育の在り方と目指す姿について共通理解を図りました。

今年度は、「教育の復興」の一つの視点として校種間連携を取り上げ、シンポジウム「校種間連携と岩手の人材育成」を開催します。普代村教育委員会熊坂伸子教育長と陸前高田市教育委員会山田市雄教育長にシンポジストとして、岩手県立大学相澤徹理事長にコーディネーターとしてご登壇いただきます。大震災津波により、ますます幼小、小中、中高、高大のそれぞれの校種間での連携が喫緊の課題となっています。お二人の教育長からは、現在また過去に取り組んだ成果をご紹介いただき、明日の岩手を担う人材育成を考える機会としたいと考えます。

午前中の終わりは、学校教育室特命課長（復興教育）が、復興教育のこの1年の取り組みについて紹介します。

◆【特設分科会】要旨

特設分科会 1【いわての復興教育～この1年の実践とこれから～】

東日本大震災津波を乗り越え、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、県では「いわての復興教育」を推進しています。本分科会では、「いわての復興教育」推進校による実践発表を行い、実践からの学びや気づきを参会者で共有し、これからの「いわての復興教育」について考えます。講師には、阪神淡路大震災時に、神戸市の防災教育の開発にかかわった鳴門教育大学教職大学院教授の村川雅弘氏を迎え、講評とこれからの方向性についてお話をいただきます。

特設分科会 2【効果的な校内研究推進マネジメント】

教員一人一人の「授業力」を向上させるための校内研究の在り方を探る分科会です。「授業改革」で有名な東京都東村山市立大岱小学校の前校長西留安雄氏による講演や、宮古市立花輪小学校と盛岡市立下橋中学校より、新しい視点からの校内研究の進め方に関する基調提案があります。講演と基調提案の後は、そこでの学びを基に、参会者全員によるワークショップにより、校内研究改善の方向性を共に考える機会とします。

特設分科会 3【地域と共に歩む教育をめざして】

児童生徒の減少が続く中、県では、小中一貫校や中高一貫校を指定し校種を超えて連携することにより、学力向上と自らの力で将来を思い描くことのできる児童生徒の育成を目指しています。今回は、普代村の地域密着型教育の保育園及び小中一貫校の取り組みの様子、一関第一高等学校及び附属中学校のこれまでの経過と将来の展望、3歳から65歳までが在籍する総合的な支援学校としての一関清明支援学校の取り組みの実際を基に、地域と共に歩む岩手の教育の在り方を一緒に考える機会とします。

特設分科会 4【学校ぐるみで取り組む中学生の学力向上～「いわてスタンダード」「Gアップシート」を活用して～】

分科会構成は3部構成です。第1部では、「いわてスタンダード」「Gアップシート」の説明と活用方法の提案を行います。第2部では、実践協力校として活用に取り組んだ4校が発表します。第3部では、3名の校長先生がテーマに沿ってパネルディスカッションを行います。「Gアップシート」は、国数英の3教科ですが、管理職や他教科の先生方にもご参加いただき、学力向上に学校全体でどう取り組めばよいか、協議を深めたいと考えています。中学生の学力向上について関心のある高等学校や小学校の先生方もご参加ください。

特設分科会 5【こころのサポート】

岩手県では、「幼児児童生徒のこころのサポート」を推進しています。その取り組みの例として、心とからだの健康観察の実施、それを活用した心理教育や心のサポート授業、表現活動が挙げられます。本分科会で、児童生徒の心のサポートにつながる実践をご報告いただき、参加された先生方がその取り組みについて考える機会とします。

講評では、兵庫教育大学大学院富永良喜教授から、「幼児児童生徒のこころのサポート」についての今年度の総括と次年度に向けた提言をいただきます。